

## 台湾スカウトとのスキー交流

知多北部地区 東海第1団 カブ隊長 名桐 悟

当団は、2010年に開催された第15回日本ジャンボリーで出会った台湾・彰化第2團のスカウトのみなさんとの交流を、今日まで大切に育んできました。長年にわたるこのつながりは、今では“友好団”と呼ぶにふさわしい、温かな関係へと発展しています。

今年2月には、当団カブ隊のスカウトたちが、彰化第2團のスカウト・指導者のみなさんと合同でスキー訓練に参加し、国際交流のひとつを過ごしました。

当日、カブスカウトの子どもたちは、事前の組集会で一生懸命つくった自己紹介カードを、少し照れながらも手渡していました。その姿はとても微笑ましく、言葉の壁を越えて心が通い合う瞬間がいくつも生まれました。こうした交流を通じて育まれる友情は、スカウトたちにとってかけがえのない経験です。

これからも、この温かい友好関係を末永く続けていきたいと願っております。



## 餅つき大会

知多東地区 半田第4団 組織・拡充委員 竹本 宗也

12月14日(日)半田第4団、恒例の団行事である餅つき大会を行いました。

当日は、天候の心配がありましたが、開始後は雨もあがり日が差して風も収まり絶好の餅つき日和になりました。昔ながらの製法で薪でもち米を蒸し、石臼でついたお餅はとても風味がよく弾力があり、醤油、あんこ、きな粉、いちご等で美味しく頂きました。

それぞれ一年を振り返り、新年を迎える準備をしました。

いつまでも伝統的な行事は続けていきたいですね。



## 地区ベンチャー集會

知多西南地区 常滑第2団 ベンチャー隊長 上濱 哲也

12月28日に知多西南地区のベンチャー集會を行いました。これは、2026年3月に計画している篠島キャンプに向けた企画作成の詳細検討を行うための集會でした。ベンチャーの話し合いの結果、全員でフェリー乗り場まで、自転車移動し、フェリーで篠島まで渡り、2泊3日の釣りキャンプを実施する内容となりました。

今回の集會では、地区ベンチャーの結束力を高める取り組みとして、プチ調理を実施しました。圧力鍋で蒸したもち米を、すりこぎとボール等を使って餅にしました。味付けは、砂糖、醤油、お汁粉、ハチミツ、ミックススパイス、明太子、海苔、大根おろしなど。

餅のように粘りのある団結力が高まりました。

